

ミンダナオ子ども図書館

松居友さんの講演と ミンダナオの子どもたちとの交流会

4.25 (水)

勝福寺

宇佐市大字四日市1426

入場無料

プログラム

- 13:30 ~ 14:30 松居 友さん講演「ミンダナオの子ども、日本の子ども 生きるかって何だろう」
15:00 ~ 16:00 ミンダナオの子どもたち（先住民・クリスチャン・イスラム）の歌と踊り
17:00 ~ 19:00 交流会（準備の都合がありますので、ご希望の方は事前にお知らせ下さい。【参加費】1000円 〈TEL〉0978-32-1806）

松居 友 プロフィール



絵本作家。児童文学者。1953年3月2日 東京に生まれる
父・松居直は福音館書店の初代編集長。母・松居身紀子は染色画家。
小さいときから絵本の読み聞かせの体験を持ち、福武書店（現ベネッセ）で絵本の編集にたずさわったのを機会に『わたしの絵本体験』（教文館）と『絵本は愛の体験です』（洋泉社）を出版。著書多数。
孤独の中で訪れたフィリピンで、貧しい孤児たちによって精神的な危機を救われる。このことが機縁となり、崩壊家庭の貧しい子どもたちに生涯を捧げることを決意。
2001年『ミンダナオ子ども図書館』を設立。子どもたちへの絵本の読み語り以外に、スカラシップ（現在300人の子どもの学資支援）、医療、植林、保育所や学校建設といった活動を、先住民、イスラム、クリスチャンの領域で続けている。

今年の公演の様子



ミンダナオ島では今も内戦が続いています。これを機会に支援を始めたいと思っています。古着（冬服以外は、子供用・大人用もOK）・靴・絵本・ぬいぐるみ等、ありましたら当日ご持参ください。また、カンパも受け付けています

ミンダナオの民芸品の即売もあります

◆◆◆ ご案内「つながろう、いのちの輪」◆◆◆

『ミンダナオ子ども図書館』は、政府軍と反政府勢力との紛争の中で、貧困や紛争のために孤立した子どもたちの支援をしています。本部では、80名の奨学生たちが共同生活をしながら、近くの学校に通っています。子どもたちの生活支援をしながら、絵本の読み聞かせをベースにした活動をしています。活動の範囲は広まり、医療支援・保育所の建設・植林・農業支援・避難民救援活動など…。

松居友さんの活動は「世界ナゼそこに？日本人」「池上彰のジャパンプロジェクト」の「世界の“命の現場”で奮闘する日本人」などのテレビ番組でも紹介されました。松居さん一人が活動しているのではなく、子どもたちの里親になったり、活動資金を支援したり、様々な形の日本人の共感があるから“命の現場”が守られているのです。

くったくのない子どもたち、そして松居友さんの家族に触れ、お話を聞きます。誘い合って、お出かけ下さい。